

## 2024 年度募集要項

### 受講対象者

下記のいずれかに該当する女性

- 企業や団体、行政などでリーダーとして働く方およびキャリアアップにむけて一歩踏み出すことを考えている方（管理職に限らず、プロジェクトや新規事業開発のリーダー、多様な人々を巻き込む役割の方など）
- 起業を目指す方
- 職場復帰や再就職を目指す際に高度なスキルを身につけたい方
- ファシリテーション、デザイン思考、チームビルディング、リーダーシップに関心のある方 など

### 定員

20名 \*先着順。定員に達し次第、締め切ります。

### 受講料

- 通期（モジュール1～3）・・・180,000円（税込）
- 60,000円（税込）でモジュール1のみの受講が可能です。
- \* 専門実践教育訓練給付制度を利用される方は、通期での受講が必須です。
- \* モジュール1を修了された方のみ、モジュール2と3（セット）を120,000円（税込）で受講することが可能です。

### 開講形態

オンライン授業（リアルタイムZoom）と対面授業

\* ウェブカメラ、マイクを備えたパソコン、安定してZoomを使用できるインターネット環境をご用意ください。

### 対面授業開講場所

福岡女子大学（福岡市東区香住ヶ丘1-1-1）地域連携センター 2階セミナー室

### 修了要件

授業への参加率70%以上、課題の評価70%以上、モジュール3は最終発表会での発表を必須とする。

\* 履修証明書の交付は修了要件に準じます。

\* 単モジュール受講の場合、授業への参加率70%以上、課題の評価70%以上に達した場合、大学独自の修了証を発行します。

### 募集期間

2024年3月1日（金）～4月30日（火）\* 申込後、受講決定者へご連絡します。

\* 振込手数料は申込者をご負担ください。\* お振込み後の返金はいたしかねます。

### 申込方法

• HPにて該当する申込書をダウンロードし、メールに添付して下記の宛先に送付ください。

[個人応募] 受講申込書 [所属企業からの応募] 受講申込書、受講推薦書

• 申込書類のダウンロード

『福岡女子大学イノベーション創出力を持った女性リーダー育成プログラム』ホームページ

<http://wb2.fwu.ac.jp/leadership/recurrent/manabi/youkou.html>

• 申込書類の送付先

[件名] 「イノベーション創出力を持った女性リーダー育成プログラム受講申込書」

[宛先] ✉ [wlc-info@fwu.ac.jp](mailto:wlc-info@fwu.ac.jp)



文部科学省職業実践力  
育成プログラム（BP）  
認定講座

社会人の職業に必要な能力の向上を図る  
機会の拡大を目的として、大学等における  
社会人や企業等のニーズに応じた、実践的・  
専門的なプログラムを「職業実践力育成  
プログラム」（BP）として文部科学大臣が  
認定するものです。



個人  
向け 専門実践教育訓練給付制度  
厚生労働大臣指定講座

当講座を修了された方のうち、一定の条件を  
満たす方は、受講料の一定の割合額（最大  
7割）が「専門実践教育訓練給付金」として  
ハローワークより支給されます。

\* 詳細は最寄りのハローワークにご確認ください。



企業  
向け 人材開発支援助成金

事業主等が雇用する労働者に対して、職務  
に関する専門的な知識および技能を習得さ  
せるための職業訓練等を計画に沿って実施  
した場合等に、訓練経費や訓練期間中の賃  
金の一部等が助成されます。

\* 詳細は都道府県労働局にご確認ください。

## 子育て中の女性をサポートする環境

対面授業の際には、大学構内の託  
児施設をご利用いただけます。乳  
幼児保育と小学生対象の学童保育  
を実施し、子育て中の女性も学び  
やすい環境となるよう支援してい  
ます。（利用料の一部をご負担いた  
だきます。）



## 公立大学法人 福岡女子大学 女性リーダーシップセンター

〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1-1-1  
TEL 092-661-2411（代表）／092-692-3198（直通）  
FAX 092-692-3220（24時間受付）

MAIL: [wlc-info@fwu.ac.jp](mailto:wlc-info@fwu.ac.jp) URL: <http://wb2.fwu.ac.jp/leadership/recurrent/manabi/>

- ◆ バス 西鉄バス「天神中央郵便局前」から21A又は26Aで約15分「福岡女子大前」下車 徒歩約1分
- ◆ 電車 西鉄香椎駅から徒歩約12分、西鉄香椎花園前駅から徒歩約10分
- ◆ J R J R 香椎駅から徒歩約15分
- ◆ 車 駐車できる台数に限りがございますので、可能な限り公共交通機関でお越しください。



社会人学び直しプログラム

# イノベーション 創出力を持った 女性リーダー 育成プログラム

2024年度（第9期）講座案内

2024年5月～12月 開講

オンライン開講 \*対面授業3回

## チームで学ぶ、 チームを学ぶ。

問題発見能力を育み、  
解決に結びつける力と  
協力して作り上げる力を身につける



文部科学省職業実践力  
育成プログラム（BP）認定講座  
教育訓練給付金指定講座

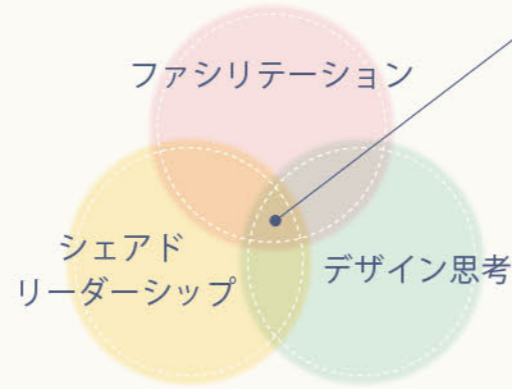


公立大学法人  
**福岡女子大学**  
FUKUOKA WOMEN'S UNIVERSITY

# チームで学ぶ、チームを学ぶ。

リーダーシップという、発信力のあるリーダーが力強くメンバーを引っ張っていく姿をイメージするかもしれません。しかし、それだけでは多様な価値観が存在する現代社会では通用しづらくなってきています。本プログラムでは対話を中心とした『チームのメンバーと意思を分かち合い、実現に結び付ける』力を身につけながら、これからのリーダーシップの在り方と発揮方法を学んでいきます。①シェアードリーダーシップ（メンバー間で知識の交換を促すリーダーシップ）、②デザイン思考（ユーザーの潜在的な思いを形にしていく思考法）、③ファシリテーション（メンバー間の相互理解を深める活動）を学びの三要素とし、多様なメンバーの個性を引き出し、成果に導くプロセスを体験するプログラムです。

対話重視のリーダーシップを実践



学び直しプログラムの学びの三要素

## モジュール 1 | リーダーシップを発揮する — コミュニケーションデザイン実践 —

[授業] 5 日間 (計 29 時間) [課題学習] 11 時間

### リーダーシップ&ファシリテーション基礎

近年では、コミュニケーションを円滑に進めるシェアードリーダーシップが求められています。モジュール 1 では、「参加＝積極的に参加する」「体験＝まずはやってみて振り返る」「相互作用＝他者から学ぶ」を存分に行うことで対話の特徴や効果を理解しながら、コミュニケーションの在り方を学びます。また、メンバーの意見を尊重しつつ、合意形成を得る方法とその心構えを学びます。



## モジュール 2 | 創造性を磨く — デザイン思考実践 —

[授業] 5 日間 (計 30 時間) [課題学習] 20 時間

### 問題を発見し、解決に結びつける力を養う

普段の生活における問題解決から新規事業の立案まで活かすことのできる「デザイン思考」を中心に学びます。既存の延長では解が見いだせない今日、これまでになかった解決策（＝イノベーション）を創出するには新たなアプローチが必要です。前モジュールでの学びを活かしつつ、ユーザーやステークホルダーといった関係者の潜在的な「思い」を探り、新しい事業のアイデアを発想するプロセスをチームで体験・習得します。



## モジュール 3 | イノベティブな企画を提案する

[授業] 5 日間 (計 16 時間) [課題学習] 14 時間

### 課題を設定し、解決策を実践する

モジュール 1、2 で得た知識をベースに新事業の創出を想定したビジネスモデル構築に取り組みます。そこでは、関心事項を基にした実践的な課題を設け、メンバーの思いをひとつにし、解決策を新しい企画案に昇華させます。最終回では、のびやかに、そして綿密に練られたビジネスモデルを関係者の前でプレゼンテーションし、ディスカッションにつなげます。



## 2024 年度 開講スケジュール

\* 気象状況や感染症の感染状況等により日時や内容を変更する場合があります。

オンライン授業 (リアルタイム Zoom) 12 回 + 対面授業 (場所: 福岡女子大学) 3 回

### モジュール 1 | リーダーシップを発揮する — コミュニケーションデザイン実践 —

日時	授業形態	講座名	内容
5/25 <sup>±</sup> 9:00-16:00 (1 時間休憩)	対面授業	開講式 / リーダーシップ概論 [講師] 品川 啓介、岸 智子	リーダーシップ研究の理論的系譜について学びながら、このプログラムで目指すリーダーシップ・スタイルとプログラムの学びの内容について解説を行います。対話や議論を可視化するグラフィックレコーディングを体験します。
6/1 <sup>±</sup> 9:00-16:00 (1 時間休憩)	オンライン授業	対話型コミュニケーションの基礎を学ぶ [講師] 岸 智子、吉次 潤	対話とは何か? 対話の重要性や効果を演習を中心に学びます。授業を通してクラスメイトとのチームビルディングを体験します。
6/8 <sup>±</sup> 9:00-16:00 (1 時間休憩)	オンライン授業	対話型コミュニケーションを 実践する [講師] 岸 智子、吉次 潤	様々なグループワークを体験しながら、多様な人との協働による新たな視点を獲得し、コミュニケーションの在り方を学びます。
6/22 <sup>±</sup> 9:00-16:00 (1 時間休憩)	オンライン授業	ファシリテーションの基礎を学ぶ [講師] 平山 猛	会議の中で参加者の発言を促し、議論を描いて整理するファシリテーションの基礎的な技術を演習等を通じて身につけます。
6/29 <sup>±</sup> 9:00-16:00 (1 時間休憩)	オンライン授業	ファシリテーションを 実践から学ぶ [講師] 平山 猛	実際に模擬会議を組み立て、合意形成に導くためのファシリテーターとしての関わり方を演習等を通じて学びます。

### モジュール 2 | 創造性を磨く — デザイン思考実践 —

7/20 <sup>±</sup> 9:00-16:00 (1 時間休憩)	オンライン授業	デザイン思考とマーケティングの基礎を学ぶ [講師] 岸 智子、櫻木 理江	イノベーションのための方法論の一つであるデザイン思考とは何か? をミニワークショップを体験しながら学びます。マーケティング戦略と合わせて学ぶことでより効果的なアイデア創出に繋がります。
7/27 <sup>±</sup> 9:00-16:00 (1 時間休憩)	対面授業	デザインリサーチの基礎を学ぶ [講師] 岸 智子、櫻木 理江	リサーチの進め方、課題設定の仕方について、講義とグループワークで学びます。インタビュー演習等を通じ、実践的なスキルを身につけます。*1
8/31 <sup>±</sup> 9:00-16:00 (1 時間休憩)	オンライン授業	新たな課題の創出・探索のプロセスを学ぶ [講師] 岸 智子、櫻木 理江	フィールドワークで得られたリサーチ結果をグループ内・グループ間で共有します。ユーザー理解を深めるフレームワークを学び、実践します。
9/14 <sup>±</sup> 9:00-16:00 (1 時間休憩)	オンライン授業	アイデア創出とブラッシュアップ [講師] 岸 智子	新しい視点での発見や気づきをもとにアイデア創出を行います。出てきたアイデアをベースに試作を行い、アイデアを磨いていきます。
9/28 <sup>±</sup> 9:00-16:00 (1 時間休憩)	オンライン授業	アイデアのプレゼンテーション [講師] 岸 智子、櫻木 理江	創り出したアイデアは、ユーザーに伝わってはじめて意味を持ちます。そのためのストーリーを描き、プレゼンテーションを行います。

\*1 7/28~8/30の期間にフィールドワーク (インタビュー調査) 実践演習を行います。

### モジュール 3 | イノベティブな企画を提案する

10/12 <sup>±</sup> 9:00-16:00 (1 時間休憩)	オンライン授業	ビジネスモデルの構築に向けたアイデアのブラッシュアップ [講師] 柴田 聡	モジュール2で生まれたアイデアを提案可能なものへとブラッシュアップします。
10/26 <sup>±</sup> 9:00-16:00 (1 時間休憩)	オンライン授業	フォローアップセッション① [講師] 品川 啓介、櫻木 理江、柴田 聡	実務家教員の指導を受けながら、ブラッシュアップしたアイデアや追加のリサーチ結果の共有を行い、更に各チームで改定案を練ります。*2
11/9 <sup>±</sup> 9:00-16:00 (1 時間休憩)	オンライン授業	ビジネスモデルの枠作り [講師] 品川 啓介	ビジネスモデル構築に必要な知識を学び、ステークホルダー間の価値の移動に焦点をあて、新規事業として提案できるようにプランに落とし込んでいきます。
11/23 <sup>±</sup> (祝) 9:00-16:00 (1 時間休憩)	オンライン授業	フォローアップセッション② [講師] 品川 啓介、櫻木 理江、柴田 聡	実務家教員の指導を受けながら、成果発表会に向けてプレゼンテーションの準備を行います。*2
12/7 <sup>±</sup> 13:00-16:00	対面授業	課題解決プランのプレゼンテーション (成果発表会) / 修了式 [講師] 品川 啓介	練り上げたアイデアのプレゼンテーションを行います。発表会には、関係者をお招きする予定です。プレゼンテーションの後には、ポスターセッションで相互フィードバックを行います。

\*2 フォローアップセッションはチームごとに30分間で実施し、セッション以外の時間はチームミーティングの時間とします。

\*その他、課題学習として、個人・グループでの振り返りや取り組み、課題解決に向けた実践等を行います。